

1 内政

ポンペイ州捜査当局、メルリン・アルフォンソ・ジェネシス病院オーナーを起訴

12日、ポンペイ州捜査当局は、メルリン・アルフォンソ・ジェネシス病院オーナー（当館注：同被告は3月5日の連邦議会選挙にポンペイ州第1区から立候補したが落選した）を従業員への違法な給与支払い、人身売買、雇用契約書の偽造等の容疑でポンペイ州裁判所に告訴した。また、18日には証言者の買収による捜査当局への捜査妨害容疑でもあわせ告訴された。ポンペイ州最高裁の資料によれば、ポンペイ州捜査当局は約8ヶ月をかけて本件捜査を行ってきた模様。

（3月4日付 カセレリエ紙）

米政府、ハルバート被告はマネーロンダリング容疑と非難

15日、米当局はミクロネシア連邦運輸・通信・インフラ省のマスター・ハルバートをマネーロンダリング容疑で逮捕した。ハルバートは、リオン・アソシエーツ社がミクロネシア連邦政府による7.8百万ドルの空港工事を受注できるように便宜を図った見返りとして金を受け取っていたが、米当局は右が米の定めるマネーロンダリングに関する法令違反にあたるとして同人を逮捕した。ミクロネシア連邦内で行われた汚職行為については、ミクロネシア連邦の司法当局によって処理されるべきである。米当局はミクロネシア連邦の司法当局と捜査情報を共有することは出来るが、ミクロネシア司法当局はまだ誰に対しても告訴を行っていない。当初米当局が1月24日にハワイの地裁に告訴し同地裁はこれを公開していなかったが、最近これを公開した。

（2月15日付 カセレリエ紙）

Youth-4Change 主催の政治フォーラムが開催

27日、活動的な青年等によるNGO団体、Youth-4Change 主催のフォーラムが、3月5日に予定される連邦議会議員選挙にポンペイ州から立候補者している8名を招いて開催された。同フォーラムにおいて、各候補者はフォーラムに参加した青年との間で2023年のコンパクトによる財政支援の終了問題や各議員の地域における取り組みのあり方等に関して幅広く質疑応答を行った。

（3月4日付 カセレリエ紙）

2重のトラブル。リヨン、クリスチャン大統領の息子にも金をオファー

クリスチャン大統領の娘婿が収賄容疑で逮捕されたのに続き、米連邦政府筋の話

によれば、リオンは同大統領の息子のクリストファー氏に対して、リオン・アソシエーツ社のために働くことへの見返りとして、月額5千から1万ドルの報酬をクリストファー氏にリオンが提示したとの疑いがもたれている。クリストファー氏がこれを受託したかはまだ明らかにはなっていない。(往電第169号を参照)
(2月24日付 ハワイアンフリープレス紙)

2 外交

中国大使館、中・ミクロネシア国交30周年を祝う中国新年会を開催

1日、当地中国大使館は中・ミクロネシア国交30周年及び中国新年会を祝うレセプションをコロニア市内のレストランで開催した。ミクロネシア政府関係者、外交団、在留中国人他が出席し、ミクロネシア連邦政府を代表してジョージ副大統領が挨拶を行った。
(2月4日付 カセレリエ紙)

トレス米北マリアナ諸島自治連邦知事(CNMI)がミクロネシア連邦を訪問

トレス米北マリアナ諸島自治連邦知事及び14名の同連邦公安部代表がクリスチャン大統領の招きにより1日から1週間の予定でポンペイ州を訪問した。歓迎のレセプションにおいて、トレス知事はミクロネシアに対して、警官の制服や4台の警察車両、そしてポンペイ電力公社にバケット・トラック1台、コロニア市に消防車1台を寄贈する旨を発表した。
(2月1日付 カセレリエ紙)

第19回ミクロネシア大統領サミットがパラオで開催

20日～21日にかけ、パラオにて第19回ミクロネシア大統領サミットが開催され、急遽出席をキャンセルしたクリスチャン大統領を代わって、ロバート外相がミクロネシア連邦を代表して出席した。
(3月4日付 カセレリエ紙)

初代キューバ大使がクリスチャン大統領に信任状を捧呈

25日、キューバの Carlos Manuel Rojas Lago ミクロネシア連邦大使がクリスチャン大統領に信任状を捧呈した。同大使はミクロネシア連邦における初代のキューバ大使となる。
(2月25日付 カセレリエ紙)

3 経 済

地域協力が中心となる，第１９回ミクロネシア大統領サミットでのＦＦＡ事務局長の演説

フォーラム漁業機関（ＦＦＡ）の事務局長であるマヌ・トゥポウ・ロッセンは，２０日にパラオで開催された第１９回ミクロネシア大統領サミットの開会の演説の中で，ＦＦＡは，ＦＦＡメンバー間の地域協力に関するメカニズムを構築するだろうと語った。また，同事務局長はフォーラム内の団結，団体としての協力が重要であり，どのようにすれば関係者が互いにより頻繁に，かつ，効果的に対話することができるかについて考えたいと加えた。

（２月２２日付 カセレリエ紙）

4 経済協力

ジョージ副大統領，チューク州政府庁舎の引渡式に出席

１月１９日にチューク州政府庁舎の引渡式が行われ，連邦政府を代表してジョージ副大統領が出席した。州庁舎は中国の援助によって建設され，同過去最大規模（噂では１５百万米ドル）の支援となった模様。

（１月１９日付 カセレリエ紙）

イスラエル、ポンペイ公益事業体の要請を検討

２０１７年１１月にポンペイ公益事業体（ＰＵＣ）とポンペイ州政府はＦＳＭを含む島嶼国を担当する Schlosser イスラエル大使に「水資源復興・改善プロジェクト」と称するポンペイ州の水道設備を改修するプロジェクトを実施するための資金３５万米ドルを要請した。２０１９年２月１８日に同大使は再びポンペイを訪れ，プロジェクトを検討するためのデータ収集を行った。

（３月４日付 カセレリエ紙）

5 文化・教育

特になし。